

教 育 委 員 会 だ よ り

別表 いじめ意識調査の概要

		小学生	中学生
回 答 数		215人(91%)	145人(99%)
問1	いじめを受けた数	19人	4人
	現在も受けている	2人	1人
問2	いじめに関わった数	68人	17人
	いじめを受けた	19人	4人
	現在も受けている	2人	1人
問3	いじめを受けた時の相談相手(複数回答)		
	親	137人(64%)	56人(39%)
	先生	119人(55%)	42人(29%)
	相談しない	12人	21人

調査の結果は別表の通りです。平成26年4月から11月までの間に「いじめを受けた」数は問1の通りです。このうち今回の調査では、小学校2件、中学校1件を「いじめ」と認定しました。幸い、学校が調査後すぐに本人と関係者から聞き取りを行い、解決を図りましたが、「いじめは0にならない」ことを突きつけられました。

この「いじめ意識調査」を開始して8年目となりました。今年も6月に続き11月に2回目の調査しました。結果について、町内小・中・高校の代表者による「研修会」で分析しました。

8年目の「いじめ意識調査」を実施して
—相談できる親・先生・友人が命綱です—

いじめに関わった数は増加傾向

問2は「いじめに関わった(いじめられた・いじめた・その両方)」数です。注目すべき点は関わった数が前回調査より1・7倍に増えていることです。「関わった」数の下に「いじめを受けた」があり、その下に「現在もいじめを受けている」が現れるという形になっています。中には、「関わった」が半数に上る学級もありました。

何でも相談できる信頼関係づくりが急務

問3は誰に相談するかです。誰にも「相談しない」が小学校で12人、中学校で21人いるほか、「相談する」と答えるながらも「親や先生には相談しない」と答えている子どもいます。親も先生も、子どもが何でも相談してくれる、子どものことは何でも解っていると考えているは大変なことになると言えます。「友人」を含め、何でも相談できる信頼関係づくりが急務であり、命綱になっていると言えます。

町内小学校で
子育て教室を開催

教育委員会主催による出前講座「子育て教室」が各地区で開催されました。



教育局社会教育指導班田中主査が講師となり



子どもたちの問題を付せんに書き出す

が子どもたちの望ましい生活習慣について考える」をテーマに話し合いを進めました。アイスブレイクを取り入れた「子どもの頃の楽しかった遊び」で自己紹介を行い、和やかな雰囲気の中で始まりました。



問題を模造紙に整理していく

はじめに、子どもたちを見て感じる「問題」を付せんに書き出し、発表しながら模造紙に貼っていき、問題を「ゲーム」と「夜更かし」の二点に絞りました。その後、ワークショップで「子どもたちの生活習慣改善について、自分に出来るようなことを考える」ということで、様々な意見を出し合い、特効薬は見出せないが子どもたちの「目指す姿」を確認しました。

参加者は、これらのことを通じて「子育て」について考える良い機会となったようでした。

なお、この「子育て教室」は、11月5日に上ノ国地区、12月3日に早川地区で実施されたほか、河北地区でも予定しています。

新春書初め大会の開催のお知らせ

- ・日 時 1月9日 9時10分～
- ・場 所 町民体育館
- ・参加申し込み 一般の方のみ当日参加可

※半紙(5枚)は主催者で用意しますが、筆や墨など必要な道具は各自持参願います。

★表彰式は1月16日10時よりジョイ・じょぐらで行うほか、参加者全員の作品を1月16日～18日の間、ジョイ・じょぐらにて展示します。

【お問い合わせ 教育委員会事務局 電話55-2230】



課 題

- ▶小学生の部(楷書)
 - 1年「たけ」 2年「まつ」
 - 3年「はつ日」 4年「生きる力」
 - 5年「平和な国」 6年「伝統文化」
- ▶中学生の部
 - 1年「新たな決意」(楷書)
 - 2年「美しい自然」(行書)
 - 3年「友好の精神」(行書)
- ▶高校一般の部
 - 「史跡勝山館」(楷書・行書)